



村小だより

香美町立村岡小学校

第3号

2026. 6. 9

○「働」働なくして生まれず ○「禮」禮なくして栄えず ○「信」信なくして立たず

学校教育目標 自らを磨き ふるさとを創る しなやかな子どもの育成
～ 笑顔・元気・挑戦～

6月を迎え、1学期も早いもので折り返しとなりました。近畿地方も梅雨入りし、湿度の高い日や気温の寒暖差が激しい日が続いています。大人はもちろん、子どもたちにとっても体調を崩しやすい季節です。そのような中ですが、本校の子どもたちは、学習や運動に、今日も変わらぬ笑顔で元気に取り組んでいます。ご家庭におかれましても、引き続きお子様の健康管理にご留意いただければ幸いです。

修学旅行 6年生

5月14日（木）～15日（金）、6年生が広島方面への修学旅行に行ってきました。修学旅行に向けて、学校では事前学習として平和や見学場所について調べていました。

初日は宮島で厳島神社、宮島水族館の見学をした後、商店街でお土産を買いました。厳島神社では社会科で学習した平安時代後期の話をガイドさんから聞くなど学びを深めることができました。

二日目は、午前中は平和学習、午後にマツダミュージアムで自動車工業と広島の復興について学習をしました。

原爆の後遺症（白血病）のため、12歳で亡くなった佐々木禎子さんをはじめ、多くの方のことを忘れないために、全校生に呼びかけて折り鶴も作ってもらいました。原爆の子の像の前での平和のセレモニーでは、6年生は平和な世の中をつくる宣言文を読み上げ、「青い空は」を歌った後、千羽鶴を捧げました。その後は平和記念資料館を見学し、ガイドさんの案内のもと平和公園内の碑めぐりを行い、平和学習を終えました。

修学旅行に行けるのは、おうちの方のおかげであると同時に、日本が平和だからです。今は世界各国から平和な日本を訪れます。私たちはこの平和を守っていかなければなりません。今回の修学旅行でどんなことを学んだでしょうか。学んだことを伝えていくことが大切です。

自然学校 5年生

5年生が「挑戦！発見！あたらしいふるさと・あたらしい自分」がテーマのもと、4泊5日の自然学校に行ってきました。5年生は、仲間と協力しながら5日間を過ごしました。苦しい時も励まし合い、乗り越えていました。一人ではできないことも、仲間がいたことでできたことがたくさんあったと思います。様々な達成感を得られた貴重な自然学校でした。

5/25（月）開村式 オリエンテーリング

飯盒炊飯

26（火）ジオカヌー、磯観察

27（水）瀬川山登山

28（木）林業体験 キャンプファイヤー

29（金）閉村式

海にも山にも恵まれている、すばらしい香美町。住んでいると、意外とよさが気がつかないものです。この5日間は、きっと大人になっても忘れられない思い出になることでしょう。

個人情報保護のため、
写真の掲載はいたしません

個人情報保護のため、
写真の掲載はいたしません

資源回収へのご協力ありがとうございました

5月24日（日）に実施した資源回収では、保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。晴天の中、たくさんの資源が集まりました。得られた収益金はPTA総会で提案したように、様々な教育活動の補助として活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

さて、次回のPTA行事として、7月3日（金）の地区別懇談会に合わせて「心肺蘇生法講習会」を行います。実用的な内容となっておりますので、ぜひご都合をつけていただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

5月の全校朝会 三日坊主は「素晴らしい」！

始業式では「自ら磨く」、入学式では「続ける」という話をしました。私は、自らを磨くために「笑顔」「元気」「挑戦」が大切だと思っています。

新年度が始まり、児童たちに「何か続けていることはありますか」と尋ねると、たくさんの手が挙がりました。「何か新しいことを始めてみよう」と挑戦した人についても尋ねましたが、同じようにたくさんの手が挙がり、とても頼もしく感じました。

そこで、「皆さんは、『三日坊主』という言葉を知っていますか」と問いかけました。新明解国語辞典で調べると「飽きっぽくて、長続きのしないこと（人）」とあり、あまりいい意味では使われません。そのことを確認した後、私は「三日坊主は（ ）」と書いた紙を見せ、（ ）の中に入る言葉を想像してもらいました。子ども達に伝えた答えは「素晴らしい」です。

保護者の方も、驚かれたかもしれません。なぜ三日坊主が素晴らしいのでしょうか。

それは、三日坊主になるためには、まず「何か新しいことを始めた」という事実が必要だからです。「挑戦しよう」と思わなければ、そもそも三日坊主にもなりません。何かを始めようとしたその勇氣こそが、何よりも素晴らしいのです。

さらに言えば、三日坊主ということは、「3日間続いた」ということです。

「3日も」続いたのです。素晴らしいと思いませんか？

もし3日続いたあとで、1日休んでしまったとしても大丈夫。もう一度、そこからまた「三日坊主」を始めればいいのです。そうすれば、合計で1週間、また繰り返せば、10日になり、2週間……と続いて行きます。こうして三日坊主を繰り返すうちに、いつの間にか1か月、1年と続いていくのです。

三日坊主は、決して失敗ではありません。「新しいことに挑戦した」という確かな証拠です。

最初から完璧を目指す必要はありません。大切なのは、何度も挑戦し直す勇氣と、「繰り返す力」です。その力こそが、子どもたちを大きく成長させてくれます。

知人は「三日坊主を10回繰り返せば、1か月になるね」と言っていました。これからも子どもたちの「チャレンジする気持ち」「続けようという気持ち」を大切に育んでいきたいと思います。

ちなみに、この話の後に、『うちの子、脱三日坊主宣言！』という面白い本を見つけました。ご興味のある方は、ぜひ手に取って見てはいかがでしょうか。



村岡小学校HP
QRコード

(文責 伊藤)